

～大変革の時代～

# 新秋田元気創造プラン 中間総括 (重点戦略)



# 戦略1 産業・雇用戦略の主な取組と成果

## ① 産業人材の確保・育成 (目指す姿1)

### 産業人材の確保



秋田県外国人材受入サポートセンター開設

### 産業人材の育成



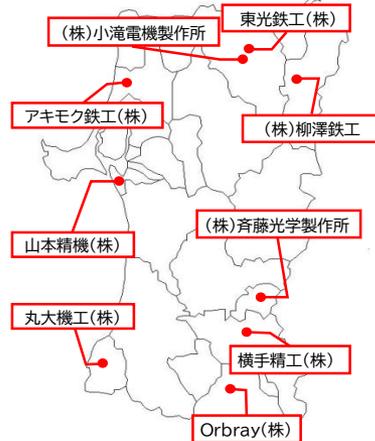
ITエンジニア養成科  
(秋田コアビジネスカレッジ)

介護福祉士養成科  
(日本赤十字秋田短期大学)

県内企業の外国人材受入れに関する相談体制を強化。  
また、セミナーや出前講座を開催し、県全体の外国人材の受入れをサポート

県内高等教育機関7校と連携し、IT、介護、保育などの高度人材を育成。  
令和4年度から45人が受講

## ② 地域経済を牽引する県内企業の育成 (目指す姿1)



リーディングカンパニー創出応援事業採択企業

補助金で導入した機器による技術開発



地域経済の底上げや好循環をもたらすリーディングカンパニーを目指す企業の取組を支援

R4→R5実績 ※判明済5社平均  
給与支給総額 +3.2% (目標+2%)  
高卒初任給 +3.2% (目標+2%)  
労働生産性 +5.3% (目標+3%)

## ③ 洋上風力発電の導入拡大 (目指す姿2)

国内初の本格的な洋上風力発電所が運転を開始!  
(能代港・秋田港)

一般海域では、全国最多となる4つの促進区域で事業化に着手

各種支援を通じて企業の進出、県内企業の参入が拡大

県内への進出企業 :13件  
県内外の企業による創出企業:11件  
県内外の企業による連携:延べ15件  
※件数は累計

### 県内企業の参入拡大



ダビットクレーン

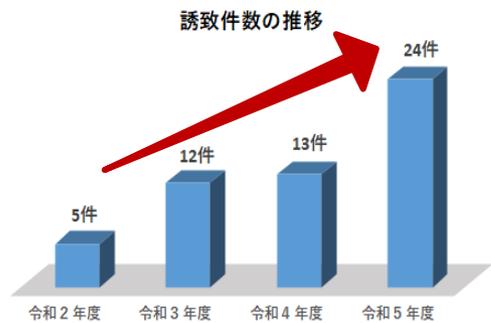


航空障害灯



メンテナンス用作業服

## ④ 企業立地の促進 (目指す姿4)



平成3年度以来の20件超の誘致件数

R5 (業種別)  
製造業 6件  
情報関連産業 14件  
洋上風力関連産業 4件



再エネ工業団地(イメージ)  
更なる誘致拡大に向けて再エネ工業団地も整備中



# 戦略1 産業・雇用戦略の主な課題と対応方針

## 目指す姿1 産業構造の変化に対応した県内産業の競争力の強化

課題	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>県内企業の9割以上を占める中小企業・小規模事業者は、大企業に比べて収益性や労働生産性に差があり、近年の賃上げ要請や人手不足といった課題への対応が急務となっている。</li> <li>人口減少が進行する中においても、県内企業が新事業の創出や新たな販路の開拓等により成長を図るためには、優れた経験やスキルを有する高度人材を積極的に活用する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>賃金水準の改善や労働生産性の向上のほか、女性活躍など企業価値の向上に積極的に取り組む企業を支援し、地域経済の底上げや好循環に大きな役割を果たすリーディング企業の創出を図るとともに、企業の中核となる大卒者等の人材の確保・定着に向けた環境整備等に取り組む企業を支援する。</li> <li>県内企業に対し、引き続きプロフェッショナル人材の獲得や副業・兼業人材の活用を促すほか、都内において、副業・兼業等を検討している首都圏在住者と県内企業とのマッチングを図るイベントを開催するなど、企業による高度人材活用への支援を強化する。</li> </ul>

## 目指す姿2 地域資源を生かした成長産業の発展

課題	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車等の電動化が世界的に進展している状況を踏まえ、県内輸送機関連企業の成長に向けて電動化に対応する取組を支援する必要がある。</li> <li>洋上風力発電の導入拡大に伴い、関連産業への県内企業の参入促進と、内陸部を含む県内全域への経済効果の波及を求める声が高まっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電動化をテーマとするセミナーや、中京圏等の自動車メーカーと県内企業の電動化ビジネスマッチングのためのコーディネーターの配置、電動化関連部品量産のための設備導入補助金など、意識醸成から量産までの各種支援を行う。</li> <li>発電事業者等とのマッチング支援、アドバイザーの派遣、人材育成への助成等を引き続き行うとともに、関連企業の立地や浮体式を含む案件形成に向けた取組を強化し、風車の部品製造、建設工事、メンテナンス等における県内サプライチェーンの構築により経済効果の最大化につなげる。</li> </ul>



## 戦略1 産業・雇用戦略の主な課題と対応方針

### 目指す姿3 歴史と風土に培われた地域産業の活性化

課題	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 伝統的工艺品産業の従事者及び生産額が減少傾向にあり、産地の持続化に向けた取組が求められている。</li> <li>• 商業・サービス業を営む事業者の多くは、人口減少に伴うマーケットの縮小や人手不足、物価高騰の影響等により厳しい経営環境に置かれているほか、消費行動の急激な変化への対応も急務となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 産地等が行う他分野と連携した国内外での販路開拓や新商品開発、人材育成等の取組を支援するとともに、一定以上の技能等を有する者を認定する制度を継続する。また、新たな販路開拓や商品の魅力向上につなげるため、若い感性を持つ学生等の斬新なアイデアを取り入れた新商品開発を支援する。</li> <li>• 事業者が抱える課題を克服するため、経営革新に取り組む上で必要となる計画の立案、執行体制、その後のフォローアップに至る一連の伴走支援について、地元の商工団体や金融機関により積極的に関わってもらう。</li> </ul>

### 目指す姿4 産業振興を支える投資の拡大

課題	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 有効求人倍率は高水準で推移しているが、若年層の県外流出が続いており、魅力的な雇用の場の確保が課題となっている。</li> <li>• 洋上風力発電事業の建設やメンテナンス等の需要の高まりなどを受けて、環日本海交流の拠点となる港湾機能の強化が課題となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 今後も成長が見込まれる産業(輸送機関連、新エネ関連、情報関連等)を主軸としつつ、IoTやAIを利活用する先進的なスタートアップ企業も対象として誘致活動を行う。また、洋上風力発電等の再生可能エネルギーの活用を見据えた再エネ工業団地の整備とPRを進めていく。</li> <li>• 基地港湾に指定された秋田港及び能代港の機能を最大限に発揮し、今後事業展開される秋田沖等の洋上風力発電事業にも港湾群として対応するため、能代港の整備を進めるとともに、船川港の港湾計画改訂を実施し、整備・活用を推進する。</li> </ul>



## 戦略2 農林水産戦略の主な取組と成果

### ① 担い手確保と農産物のブランド化、複合型生産構造の確立 (目指す姿1)



先進農家での現地実習

新規就農者の定着を支援



R4サキホコレ 本格デビュー

全農通販サイトJAタウンで  
R5年売上げ 第1位



排水対策実証ほにおける  
作業機械の実演会

園芸や畑作物の単収向上を支援



秋田牛のトップセールス

海外への秋田牛輸出を拡大

### ② 林業就業者の確保・育成と再生林の促進 (目指す姿2)



あきた造林マスターの  
働きかけで年々拡大



林業女性会議による提案活動(R5.9)  
女性・若者の就業環境の充実に提案

### ③ 漁業生産の安定化と販売力の強化 (目指す姿3)



「輝サーモン」の商品化

各地での新たな蓄養殖を支援



若手漁業者による直売

多種多様な魚介類の販売拡大

### ④ 農村ビジネスの創出と新たな兼業スタイルの普及 (目指す姿4)



駅舎を活用した漬物加工所の整備  
地域資源を生かした  
ビジネス創出を支援



ネギの出荷作業とテレワークによる「半農半X」  
新たな兼業スタイルによる関係人口の拡大



## 戦略2 農林水産戦略の主な課題と対応方針

### 目指す姿1 農業の食料供給力の強化

課題	対応方針
<ul style="list-style-type: none"><li>新規就農者が増加傾向にある中で、非農家出身の割合が高まっており、就農定着に向けた経営基盤の整備やノウハウの習得が求められている。</li><li>複合部門の産出額は増加傾向にあるが、労働力不足やほ場条件等により、単位面積当たりの収量格差が大きくなっている。</li><li>業務用米や輸出用米など多様なニーズへの対応や更なる低コスト化に向けた生産体制の強化が求められている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>就農希望者の多様なニーズを踏まえ、県のアグリフロンティア研修制度をより実践的な内容に見直すとともに、就農相談から営農定着まできめ細かな支援活動を継続する。</li><li>あきた型ほ場整備の推進による効率的で収益性の高い生産体制を構築するとともに、単収向上を図る排水対策の普及、スマート技術の導入による省力化を促進する。</li><li>サキホコレを牽引役とし、秋田米のブランド力向上を図るとともに、スマート技術や直播栽培等の省力化技術の組み合わせにより、高品質・低コスト生産技術体系を構築する。</li></ul>

### 目指す姿2 林業・木材産業の成長産業化

課題	対応方針
<ul style="list-style-type: none"><li>再造林面積は増加しているものの、森林所有者への造林地集積の仕組みの周知が不十分なほか、林業経営体における更なる低コスト化・省力化が求められている。</li><li>国内の木材需要が、物価高騰の影響を受けて低調な状況にあり、生産活動の停滞が懸念されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>「あきた造林マイスター」の活動を強化し、森林所有者への再造林の働きかけを行うとともに、再造林を行う林業経営体への造林地集積とスマート林業機械の活用等による低コスト・省力造林技術の定着を図る。</li><li>県産材利用を促進するため、住宅部材について輸入材から県産材への転換を進めるとともに、非住宅や海外市場への販路拡大を図り、新たな需要を開拓する。</li></ul>



## 戦略2 農林水産戦略の主な課題と対応方針

### 目指す姿3 水産業の持続的な発展

課題	対応方針
<ul style="list-style-type: none"><li>継続的に新規就業者を確保するため、高校生を始めとした幅広い年代層に対する漁業の魅力等の情報発信が求められている。</li><li>岩館漁港でのサーモン養殖等の現地実証により、養殖技術が向上してきており、更なる生産拡大に向けた基盤づくりが求められている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>あきた漁業スクールやあきた就職フェア等でのリクルート活動、SNSを活用した漁業現場のリアルな情報発信などにより、本県漁業への関心を高める。</li><li>養殖技術の高位安定を図るとともに、既存の防波堤を延伸し、養殖の適地となる静穏域を創出する。</li></ul>

### 目指す姿4 農山漁村の活性化

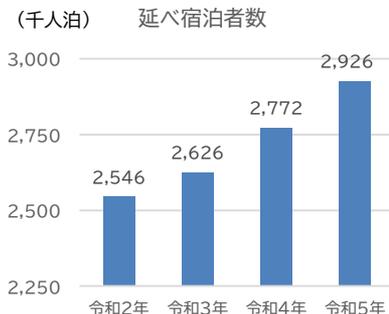
課題	対応方針
<ul style="list-style-type: none"><li>多種多様な地域資源を有している中で、それを生かす人材の育成や農村ビジネスへのサポートが求められている。</li><li>移住者や関係人口の増加が期待される「半農半X」等の取組の拡大が求められている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>農山漁村プロデューサー養成講座等を継続開催し、地域づくり活動やビジネス創出の主体となる人材や組織の発掘・育成を図るほか、アドバイザー派遣等により、地域の取組をきめ細かく支援する。</li><li>「半農半X」の実証調査地域の拡大や、これまでの成果の分析、ノウハウ等の共有により、取組の機運を高め普及促進を図る。</li></ul>



# 戦略3 観光・交流戦略の主な取組と成果

## ① 冬季・インバウンド誘客の促進 (目指す姿1・5)

【延べ宿泊者数】  
コロナ禍前(令和元年)の約8割まで回復



宿泊施設の高付加価値化  
に向けた取組を支援

補助件数:52件  
(令和4~5年度累計)

令和5年度  
4年ぶりの台湾チャーター便が就航

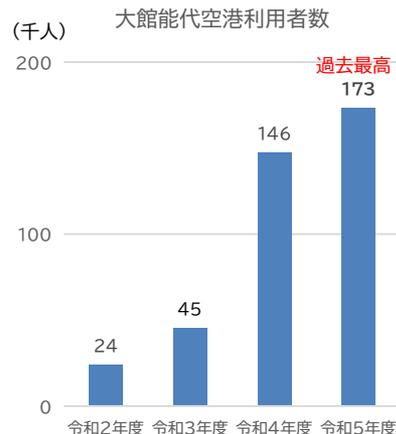


繁閑の平準化に  
向けた冬季誘客の推進

冬季観光の体験型コンテンツの造成

## ② 交通ネットワークの構築 (目指す姿5)

【大館能代空港】  
令和4年度 東京羽田線3往復運航の開始  
令和5年度 利用者数が開港以来過去最高



高速道路等の整備促進

至 横手 (仮)横堀トンネル  
108  
至 大崎  
13  
至 新庄 (仮)役内川橋 役内川

開通に向け整備が進む東北中央自動車道「横堀道路」

地域の実情に応じた  
地域公共交通網の形成



AIオンデマンドタクシー  
:まちなかコサクル(能代市)

## ③ 食品産業振興ビジョンの策定による食品製造業の振興 (目指す姿2)

商談会の開催等による  
マッチング機会の創出



国内外の商談・展示会への参加事業者数  
:延べ284社(令和4~5年度累計)

食品製造事業者の生産性向上を支援



生産性向上に向けた機器整備への補助件数  
:15件(令和4~5年度累計)

## ④ 文化芸術、スポーツの振興によるにぎわい創出 (目指す姿3・4)

あきた芸術劇場ミルハスを  
核としたにぎわい創出



大規模イベント・興行数:296件(令和4~5年度累計)

新県立体育館の令和10年秋  
開館に向けた基本計画を策定





## 戦略3 観光・交流戦略の主な課題と対応方針

### 目指す姿1 「何度でも訪れたいくなるあきた」の創出

課題	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>観光産業を取り巻く環境は改善しつつあるが、他の産業と比べ労働生産性が低いほか、人材不足が生じている。</li> <li>本県の特色を生かしたコンテンツが不足しているほか、観光消費額の拡大に向けた取組が不足している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル技術活用による労働生産性の向上を図るとともに、女性従業員の就業意欲の向上など観光人材の確保に向けた取組を進める。</li> <li>アウトドアアクティビティや、歴史・文化を学ぶ体験型コンテンツの掘り起こし、食の魅力発信と誘客との連携など、地域資源を活用し新たな旅行ニーズに対応するとともに、宿泊施設の高付加価値化に向けた取組を促進する。</li> </ul>

### 目指す姿2 「美酒・美食のあきた」の創造

課題	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>県内食品製造業は、小規模・零細事業者が約8割を占めており、1事業所当たりの製造品出荷額が低い状況にある。</li> <li>輸出に取り組む事業者が固定化しているほか、日本酒、稲庭うどんに次ぐ新たな商材が見出せていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産性向上や企業価値向上への取組等に対する支援を行い、県内の食品産業を牽引するリーディングカンパニーを育成するとともに、事業活動の中核を担う人材の育成や事業者間連携、販路拡大等を促進する。</li> <li>海外での販路開拓に取り組む事業者の掘り起こしを進めるほか、バイヤーや飲食店等の現地ニーズの把握に努め、輸出商材の多様化を図る。</li> </ul>

### 目指す姿3 文化芸術の力による魅力のある地域の創生

課題	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>ミルハスの利用者数や稼働率を高水準に維持するとともに、ミルハスを核とした県全体のにぎわいを継続的に創出していくことが求められている。</li> <li>県民が広く文化芸術に親しむことのできる環境づくりが求められている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミルハスの優れた音響特性など施設の優位性を最大限にPRし、質が高く集客力のある公演を開催・誘致するほか、県内文化施設と連携したイベントの実施等により、ミルハスを核とした地域の活性化やにぎわい創出を図る。</li> <li>東京藝術大学との連携等により、県民が質の高い文化芸術に触れる機会の確保や将来の地域文化を担う若手の育成を図る。</li> </ul>



## 戦略3 観光・交流戦略の主な課題と対応方針

### 目指す姿4 活気あふれる「スポーツ立県あきた」の実現

課題	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の賑わい創出や競技力向上のほか、スポーツ大会等の開催を通じた交流人口・関係人口の拡大が求められている。</li> <li>少子化の影響による競技人口の減少や、専門性を有する指導者の不足等により、アスリートの育成・強化に影響が生じている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>トップスポーツのアウェイ会場におけるキャンペーンや、スポーツ大使との連携など、本県にゆかりのあるコンテンツを活用し、スポーツと観光・食・文化等の連携によるスポーツツーリズムを推進する。</li> <li>全県から優秀・有望な選手を選抜し、充実した練習環境を提供するため、指定競技団体に新たに指導者養成担当者を配置し指導者の資質向上を図る。また、小中学生を対象としたスポーツ能力測定会や体験会の開催など、スポーツを始めるきっかけづくりを行うことにより、スポーツのすそ野拡大に取り組む。</li> </ul>

### 目指す姿5 国内外との交流と住民の暮らしを支える交通ネットワークの構築

課題	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>国の羽田発着枠政策コンテストによって3往復運航が実現した大館能代空港の利便性について、旅行者や企業、旅行事業者の間で十分に認知が広まっていない。</li> <li>利用者減少や乗務員不足の深刻化に伴い、バス路線の廃止・縮小が相次いでおり、市町村では、乗合タクシーやデマンド交通など、地域の実情に応じた効率的な交通ネットワークの確保が課題となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>航空事業者・旅行事業者、利用促進協議会等との連携を強化し、潜在的顧客層に対するデジタルマーケティングを活用したプロモーションやSNSによる地元情報の発信を行うほか、企業訪問等によるビジネス利用の喚起や商談会を通じた旅行事業者へのPR等を実施し、新たな旅行需要の取り込みを図る。</li> <li>持続可能な地域公共交通の確保に向け、地域のニーズに即した、よりコンパクトで効率的なコミュニティ交通への移行を促進するため、市町村等に対するノウハウの提供や移行に要する経費の一部助成など、路線再編に向けた取組を支援する。</li> </ul>

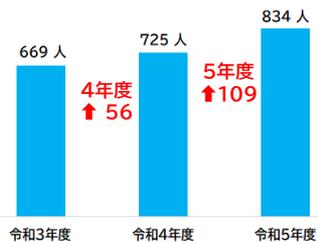


# 戦略4 未来創造・地域社会戦略の主な取組と成果

## ① 新たな人の流れの創出 (目指す姿1)



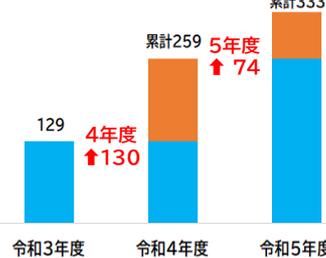
移住者数(県関与分)



## ② 結婚・出産・子育ての希望がない女性・若者が活躍できる社会の実現 (目指す姿2・3)



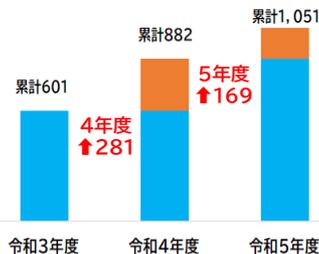
成婚報告者数



## ③ 変革する時代に対応した地域社会の構築 (目指す姿4)



SDGsパートナー登録者数



## ④ 脱炭素の実現を目指す地域社会の形成や行政サービスの向上 (目指す姿5・6)

4年ぶりの大規模開催  
来場者2.7万人



行政手続きのオンライン化の推進  
令和5年度39,699件利用

秋田県 電子申請・届出サービス

<p>【長寿社会課】令和6年度施設入所申込者等状況調査</p> <p>受付開始日時 2024年06月20日09時00分 受付終了日時 2024年06月26日17時00分</p>	<p>リトルベビーハンドブックメッセージ応募フォーム</p> <p>受付開始日時 2024年06月20日09時00分 受付終了日時 2024年06月26日17時00分</p>
<p>あきた県民文化芸術祭参加申込書</p> <p>受付開始日時 2024年06月20日09時00分 受付終了日時 2024年06月26日17時00分</p>	<p>令和6年度小児慢性特定疾病児童等療養相談会の申込みフォーム</p> <p>受付開始日時 2024年06月18日13時00分 受付終了日時 2024年06月26日17時00分</p>
<p>労働相談申込書</p> <p>受付開始日時 2024年06月19日10時00分 受付終了日時 2024年06月26日17時00分</p>	<p>あきたJAXAクロスバージョン研究会入会申込書 提出フォーム</p> <p>受付開始日時 2024年06月18日13時00分 受付終了日時 2024年06月26日17時00分</p>



## 戦略4 未来創造・地域社会戦略の主な課題と対応方針

### 目指す姿1 新たな人の流れの創出

課題	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な働き方の拡がりにより、移住や就職に関する相談内容が複雑化していることから、きめ細かな相談対応や情報発信が求められている。</li> <li>進学等で県外転出した若年層は、秋田での生活や就職に対する関心が薄れる傾向がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アキタコアベースにおける移住・就職に関するワンストップでの相談対応や、市町村・関係機関等と連携した各種交流イベントを通じ、秋田への関心層の拡大を図り、本県への移住・回帰の流れを加速していく。</li> <li>高校3年時に県就活情報サイトへの会員登録を促し、進学等で県外転出した場合でも定期的に就活情報や秋田暮らし・魅力の情報を発信する。</li> </ul>

### 目指す姿2 結婚・出産・子育ての希望がかなう社会の実現

課題	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>2022年から2年間の結婚支援センターへの成婚報告者数は200人を超えたが、目標を下回った。</li> <li>保育現場からは、保育士の労働負荷のより一層の軽減や保育人材の確保を望む声がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>AIマッチングシステムや結婚コーディネーターによる支援を継続するとともに、結婚支援団体間の連携を深め、あきた結婚支援センターを中心に、出会いの機会の提供や相談対応などを推進する。</li> <li>保育士修学資金の貸付により県内就職を促進し、地域の実情に応じた多様な保育ニーズに対応できる人材の確保を支援する。</li> </ul>

### 目指す姿3 女性・若者が活躍できる社会の実現

課題	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>企業の女性活躍の取組が広がり、2023年の女性管理職割合は22%と過去最高となったが、女性の意識向上や経営者の理解は、まだ十分でない。</li> <li>進学や就職に伴う若者の県外流出により人口減少と高齢化が進み、社会の活力が低下してきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>官民一体で女性の意識改革を進めるとともに、研修会等を通じて、経営者や管理職のダイバーシティ経営への意識醸成を図るほか、関係団体との連携により男性の家事・育児参画を促進し、女性が活躍できる職場環境を整備する。</li> <li>若者ならではの斬新なアイデアや夢の実現に向け、専門家と連携して挑戦を支援し、次代を担う若者が活躍できる社会の実現を目指す。</li> </ul>



## 戦略4 未来創造・地域社会戦略の主な課題と対応方針

### 目指す姿4 変革する時代に対応した地域社会の構築

課題	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少子高齢化により中山間地域の集落では、地域活動の担い手が不足している。</li> <li>・ 持続可能でコンパクトなまちづくりに向けた議論が県全体に浸透していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集落単位でのワークショップ等を通じ、地域活動の主体となる地域運営組織の形成支援や、地域活動に関心がある女性の地域活動への参画を促進する。</li> <li>・ まちづくりに関する意識向上を図るための講習会の開催や、市町との情報交換の場等を活用し、目指すべきまちづくりについての議論を促進する。</li> </ul>

### 目指す姿5 脱炭素の実現を目指す地域社会の形成

課題	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 温暖化対策の実施に必要なノウハウや人材等が不足しており、地域や実施主体ごとに取組に温度差がみられる。</li> <li>・ 県民の1人1日当たりのごみ排出量や食品ロス量が全国平均を上回っている状況にある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 温暖化対策推進人材の育成・確保のほか、地域や企業などが効果的に取組を進められるよう、先進事例情報を発信するなど県民運動を展開する。</li> <li>・ ごみの減量化やリサイクルに向けた実証試験の結果を踏まえて広域的なごみ減量・資源循環モデルを構築し、社会実装に向けた取組を進めるとともに、広報の強化により県民意識の醸成を図る。</li> </ul>

### 目指す姿6 行政サービスの向上

課題	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域課題解決や経済活性化に向けた、住民や企業が利用できるオープンデータが不足している。</li> <li>・ 生産年齢人口の著しい減少が想定され、自治体・民間ともに担い手不足が課題となっており、業務の効率化や生産性の向上が求められている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県保有のデータ等のデータベース化により、二次利用可能な庁内データを整理し、利用の拡大を図る。</li> <li>・ 県・市町村協働政策会議等を通じて、県と市町村間の一層の連携について働きかけを行い、先進事例や費用対効果、市町村ニーズ等を踏まえて、効率的で持続可能な行政運営体制の構築を目指す。</li> </ul>

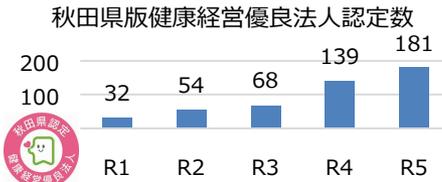


# 戦略5 健康・医療・福祉戦略の主な取組と成果

## ① 健康寿命の延伸に向け、県民・企業と一体となった取組の推進 (目指す姿1)



- ・300を超える「秋田県健康づくり県民運動推進協議会員」との連携による県民運動を展開
- ・181法人が「秋田県版健康経営優良法人」の認定を受けるなど、健康づくりに対する社会的気運が向上



## ② 人口減少時代を見据えた質の高い医療提供体制の構築 (目指す姿2)



## ③ 高齢者と障害者の地域での生活を支える支援体制の充実・強化 (目指す姿3)

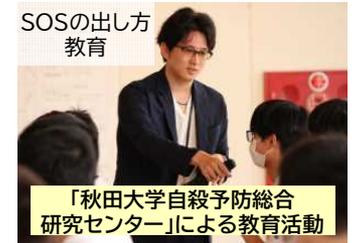


「医療的ケア児支援センター」の開設(R4.4)と障害者の社会参加を支援するサポーターの育成

## ④ 複雑化・多様化する福祉ニーズに対応した支援体制の充実 (目指す姿4)



複合的な事案に対応する「子ども・女性・障害者相談センター」の開設(R5.4)





## 戦略5 健康・医療・福祉戦略の主な課題と対応方針

### 目指す姿1 健康寿命日本一の実現

課題	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>健康に関して関心の薄い層や育児・仕事で健康づくりに取り組む余裕のない働き盛り世代において、意識改革や行動変容につながっていない。</li> <li>県民(20歳以上)の野菜摂取量は286.4gと増加傾向にあるが、目標には届いていない。また、食塩摂取量は10.1gと減少傾向にあるが、依然として多い。</li> <li>コロナ禍により落ち込んだがん検診受診率(胃・大腸・肺・子宮頸・乳)は、一部を除き改善傾向にあるが、コロナ禍前の水準には戻っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>働き盛り世代の健康づくりを推進するため、年代や性別等に応じた効果的な広報手法の検討を行うとともに、「秋田県版健康経営優良法人認定制度」の拡大を通じた健康経営の考え方の普及を図る。</li> <li>新たに改訂した「秋田県民の食生活指針」に基づき、関係団体等との連携や出前講座、研修会などの普及啓発の取組を進め、「減塩」や「野菜・果物摂取の増加」といった県民の意識改革や行動変容につなげる。</li> <li>健(検)診予約システムの未導入市町村に対してシステムの導入を働きかけるなど、受診しやすい環境整備を進めるとともに、かかりつけ医等による受診勧奨などを通じて、健(検)診の受診促進を図る。</li> </ul>

### 目指す姿2 安心で質の高い医療の提供

課題	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>修学資金貸与を受けた医師で、地域の医療機関で働く者は徐々に増えてきているが、医師不足や地域偏在の解消には至っていない。</li> <li>広大な県土を有する本県において、人口減少に伴う患者の減少や医療ニーズの変化が進む中、質の高い医療を持続的に提供できる体制の構築が必要である。</li> <li>新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえ、県民の健康に重大な影響を与える感染症の発生に備えるため、病床・外来医療、検査体制の強化等が求められる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たに策定した「秋田県医師確保計画」に基づき、秋田大学や県医師会などの関係機関と連携しながら、医師不足や地域偏在の解消に向けた施策を着実に推進する。</li> <li>二次医療圏の見直しを踏まえ、より広域的な枠組みにおける役割分担や連携のあり方について、医療機関等との協議を進めるとともに、オンライン診療の普及など、医療のデジタル化を推進するための取組を展開する。</li> <li>秋田大学の「感染統括制御・疫学・分子病態研究センター」と連携しながら、「秋田県感染症予防計画」に基づき、今後の感染症危機に備えた医療提供体制の整備や人材育成などの感染症対策の強化を図る。</li> </ul>



## 戦略5 健康・医療・福祉戦略の主な課題と対応方針

### 目指す姿3 高齢者と障害者の暮らしを支える体制の強化

課題	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 超高齢化と生産年齢人口の減少により介護人材の需給ギャップが広がり、介護職員の不足が今後更に進行することが想定される。</li> <li>・ 認知症の方が増えることが見込まれる中、支援する体制の強化が求められている一方、その中心となる「チームオレンジ」の設置が5市町村に止まっている。</li> <li>・ 障害への正しい知識と理解を持つ専門サポーターの養成にあたって、サポーターが未設置の地域がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護や福祉の職場のイメージアップを図りつつ、若者や中高年、外国人を含む多様な人材の新規参入の促進、介護ロボットやICTの導入による労働環境の改善・業務の効率化など、ハード・ソフト両面からの幅広い対策を推進する。</li> <li>・ 「チームオレンジ」の立ち上げ等を担うオレンジコーディネーター研修について、未受講の市町村に受講を積極的に働きかけるなど、チーム数の増加・底上げを図りながら支援体制を強化する。</li> <li>・ サポーター養成に必要な講師を養成する研修機会を確保するため、全市町村へ広く呼びかけを行うとともに、場所や移動の負担なく受講できる環境を整えていくなど、サポーター未設置地域の解消を目指す。</li> </ul>

### 目指す姿4 誰もが安全・安心を実現できる地域共生社会の実現

課題	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「子ども・女性・障害者相談センター」を開設した一方、福祉ニーズに対応する市町村の包括的相談体制は、人材確保等の課題により十分な体制となっていない。</li> <li>・ 令和5年の自殺者数は減少し、死亡率は全国ワーストを脱却したものの、依然として高い状況が続いている。</li> <li>・ ケアラーへの県民理解が不十分であるほか、ケアラー自身の認識不足もあることから、まずはケアラーの潜在的な支援ニーズを把握する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市町村等を対象とした包括的相談支援体制整備に係る研修を開催するほか、担い手確保に向け、民生委員、施設関係者やNPO法人等向けの研修等も開催するなど、地域で受け止める体制づくりを推進する。</li> <li>・ 自殺に至る様々な要因を把握・分析をする「秋田大学自殺予防総合研究センター」が行う調査結果を民間団体・行政・報道とも共有を図り、関係団体と連携したSNS等による相談対応などの支援に取り組む。</li> <li>・ ヤングケアラーを含む、家族介護者が相談しやすい環境づくりに向け、SNSを活用した相談プラットフォームの運用などを行うほか、関係機関と連携を図りながら、地域全体で支える体制を構築する。</li> </ul>



# 戦略6 教育・人づくり戦略の主な取組と成果

## ① 社会の変化とニーズに応じた専門教育の推進 (目指す姿1)



ロボット教材を活用した  
プログラミング教育

最新のICT教材やIT専門人材を  
活用したデジタル教育を推進



スマート農業体験実習

地域の教育資源を活用した特別講義や  
技術研修など、最先端の学びを推進

## ② 学習の質を高めるための教育環境の整備 (目指す姿2)



小学校におけるICTを活用した授業

全ての学校に1人1台端末や高速通信  
ネットワーク環境を整備



鹿角高校

令和6年4月に、花輪高校・小坂高校・  
十和田高校を統合し、鹿角高校を開校

## ③ 豊かな心と健やかな体の育成 (目指す姿4)



特別支援学校と小学校の  
交流及び共同学習

障害のある子どもが、地域の同世代の  
子どもや人々と共に学ぶことができる  
環境づくりを推進



地域人材を活用した体育授業

全ての児童生徒が運動やスポーツの  
楽しさや喜びを味わうことのできる授  
業づくりを推進

## ④ 良質な文化芸術に親しむ機会の充実と文化遺産の保存・活用 (目指す姿6)



メタバース×キンピ

仮想空間(メタバース)上に近代美術  
館を再現  
自宅に居ながら、近代美術館所蔵の  
美術品を閲覧可能に  
(令和6年4月20日～)



西馬音内の盆踊



毛馬内の盆踊

令和4年11月30日、「西馬音内の盆踊」  
「毛馬内の盆踊」を含む「風流踊」がユネ  
スコ無形文化遺産に登録



## 戦略6 教育・人づくり戦略の主な課題と対応方針

### 目指す姿1 秋田の将来を支える高い志にあふれる人材の育成

課題	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>新規高卒者の3年後離職率は、全国平均を下回っているが、企業とのミスマッチによる離職が生じている。</li> <li>科学技術の進展や産業構造の変化等に伴い、地元企業等が生徒に求める専門的な知識・技術が変化しており、指導内容も高度化している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内事業所の研修制度や離職状況等の情報を生徒に伝える機会を設けるとともに、離職防止セミナーや支援員による就職後のフォローアップを行う。</li> <li>専門人材を活用した特別講義や県内企業等での技術研修を実施するとともに、専門学科や地域をデジタルでつなぐ「ものづくり・ラボ」を構築し、デジタル化に対応したものづくり教育を推進する。</li> </ul>

### 目指す姿2 確かな学力の育成

課題	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>教員個々のICT活用指導力の差は依然大きく、授業改善に向けてICT環境を組織的に有効活用するには至っていない。</li> <li>「人材や予算に課題がある」等の理由から、幼児教育推進体制の構築が進まない市町村がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種協議会等において各校の好事例を積極的に情報提供するとともに、教員及び学校間の連携を推進する。また、教員研修を実施し、指導力向上を図る。</li> <li>就学前教育・保育アドバイザーを配置する10市村の取組や優良事例等の情報を発信するとともに、市町村訪問による助言指導やアドバイザー配置の課題解決に向けた有識者会議の開催など、市町村の実情に即した支援を行う。</li> </ul>

### 目指す姿3 グローバル社会で活躍できる人材の育成

課題	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>英検3級相当以上の英語力を有する中3生の割合は増えているものの、国の目標(50%)に達していない。</li> <li>企業の外国人材の受入促進などにより今後県内在住外国人の増加が予想されており、地域で生き生きと暮らせるよう、日本語教育の強化が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語担当指導主事による指導改善のための会議において学校訪問時に教員に対して指導する内容を共有するとともに、教員研修で現在課題となっている内容について扱い、教員の指導力及び生徒の英語力の向上を図る。</li> <li>令和5年度に策定した「秋田県日本語教育の推進に関する基本的方針」に基づき、関係機関と連携して日本語教育の環境整備を推進していく。</li> </ul>



## 戦略6 教育・人づくり戦略の主な課題と対応方針

### 目指す姿4 豊かな心と健やかな体の育成

課題	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>スマートフォンの普及拡大により、未就学児のインターネット利用率が急激に増加している。</li> <li>本県児童生徒の新体力テストにおける体力合計点は全国トップクラスにあるものの、コロナ禍前に比べ、体力の低下や運動離れの進行が懸念される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関等と連携・協働し、低年齢期の子どもを持つ保護者や幼稚園、保育所等の関係者を対象とした啓発講座を実施し、安全・安心なインターネット利用環境の整備を図る。</li> <li>指導者に対する研修会や地域人材を活用した体育授業等を通じ、運動やスポーツが好きで体力の高い児童生徒の育成に努める。</li> </ul>

### 目指す姿5 地域社会の活性化と産業振興に資する高等教育機関の機能の強化

課題	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>県内高等教育機関が、地域を支える拠点としての役割を果たすため、特色ある取組が求められている。</li> <li>県内高等教育機関では、本県産業界等で活躍できる人材の育成に取り組んでいるが、卒業生の半数以上が県外に就職してしまっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>秋田県立大学が行うスマート農業の普及に向けた取組や、私立大学等が行う即戦力人材育成の取組など、教育・研究・地域貢献の各分野における各高等教育機関の特色を生かした取組に対し、支援を行う。</li> <li>大学等が行う県内定着に向けた取組を支援するとともに、高校生の県内進学を促進するため、県内高等教育機関等が一堂に会した進学相談会を開催する。</li> </ul>

### 目指す姿6 生涯にわたり学び続けられる環境の構築

課題	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>障害理解や開催ノウハウ、支援者の不足等、障害者に配慮した講座の実施に課題を有する市町村が多い。</li> <li>縄文遺跡群や民俗芸能、郷土食など本県の文化財の魅力が認められつつあるものの、保存や活用に向けては、地域住民と連携した取組が不十分である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援学校が設置されている自治体を中心に、障害保健福祉圏域を生かし、生涯学習・社会教育担当課や特別支援学校の同窓会等が連携し、地区別に課題に応じて協働で講座を開催できるよう、ネットワークを構築する。</li> <li>観光部門や地域づくり部門、学校教育等と連携した取組の推進により、地域住民の文化財継承に向けた機運を盛り上げ、保存と活用の相乗効果を図る。</li> </ul>